

FLOW AREA

KUNST ARZT では、昨年に引き続き、勝木有香の個展を開催します。
勝木有香は、モノの動きそのものを、独特のポップセンスで視覚化するアーティストです。
画面上には、一瞬一瞬垣間見える、ものの動きの形が幾層にもトレースされ、
その周りの空気感がドットで表現されます。
Violent rhythm (2020) は、直接壁面にシルクスクリーンした幅約 10 メートルの超大作で、
人々の動きの残像がそのまま映し込まれたような、圧倒的な存在感でした。
本展も、展示空間を壁面作品とパネル作品で展開する構想です。(KUNST ARZT 岡本光博)



1996 大阪生まれ
2019 嵯峨美術大学 芸術学部造形学科版画・写真領域卒業
2020 嵯峨美術大学 大学院芸術研究科複合領域 在籍

【個展】

2019 「TRACE MOVEMENT」 gallery そら (大阪)
2019 「TURN ROUND AND ROUND」 Kunst arzt (京都)

【グループ展】

2018 「ワガハイ展」 gallery そら (大阪)
2018 「summer group show」 the blank gallery (東京)
2018 「SAGADASH」 Art space MEISEI (京都)
2018 「二人展」 gallery そら (大阪)
2019 「第 63 回 CWAJ 現代版画展」 審査員特別賞
2019 「第 7 回 NBC メッシュテックシルクスクリーン国際版画ビエンナーレ展」 有楽町朝日ギャラリー (東京)
2019 「第 44 回全国大学版画展」 優秀賞 / 町田市立国際版画美術館賞 町田市立国際版画美術館 (東京)
2020 「FLAT OUT!!!」 Alternative Space yuge (京都)
2020 「U know they mean (うのぜみ 2020)」 Steps Gallery (東京)

2020 年 10 月 6 日 (火) から 11 日 (日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

FLOW AREA

アーティスト・ステートメント

「動き」とは状態や状況の変化、移り変わり、方向性など形が定まるものではない。
動いているその瞬間でしか捉えられない存在だ。
その存在というのは、自分自身の心情にも重なる。
常に動き続け、常に変化し、時間と共に流れていく



He is a fidgety man
2020年
Silkscreen



Flow area
2020年
Silkscreen
限られた範囲に溶け込もうとするが、我慢できず動いちゃう



個展
「TURN ROUND AND ROUND」
展示風景
KUNST ARZT
2019
by Office Mura Photo